

日本赤十字九州国際看護大学学術情報リポジトリ

タイトル	日本留学試験聴読解問題の分析：アカデミック・ジャパニーズの輪郭を求めて
著者	因 京子
掲載誌	韓日言語文化研究, 4 : pp 23-53.
発行年	2004.
版	publisher
URL	http://id.nii.ac.jp/1127/00000401/

<利用について>

- ・本リポジトリに登録されているコンテンツの著作権は、執筆者、出版社(学協会)などが有します。
- ・本リポジトリに登録されているコンテンツの利用については、著作権法に規定されている私的使用や引用などの範囲内で行ってください。
- ・著作権に規定されている私的使用や引用などの範囲を超える利用を行う場合には、著作権者の許諾を得てください。
- ・ただし、著作権者から著作権等管理事業者(学術著作権協会、日本著作出版権管理システムなど)に権利委託されているコンテンツの利用手続については各著作権等管理事業者に確認してください。

「日本留学試験・聴読解問題」分析

－ アカデミック・ジャパニーズの輪郭を求めて －

九州大学留学生センター 因 京子

1. はじめに

本稿は、平成14年から実施されている日本留学試験の日本語科目の領域の一つである「聴読解」の問題を、大学教育を受けるための能力の測定という目的に合致したものであるかどうかという観点から分析・評価を行うものである。

入学選考に用いられる試験の内容が入学を目指して行われる日本語教育の方針や内容に大きな影響を及ぼすことは改めて言うまでもない。「日本留学試験」という新たな試験が「大学教育を受けるための能力」という目的を明確に定義したことは、日本語能力の到達段階を母語話者の能力を到達点として漠然と段階分けしていた従来認識を大きく前進させるものではある。しかし、「大学教育を受けるための能力」の具体的な内容についての共通認識はまだなく、この試験の内容こそがそれを作り上げていく上で大きな役割を果たす可能性が大きい。「日本留学試験」の内容を注意深く検討していくことは、留学希望者に対する日本語教育の妥当性を確保する上で、非常に大きな意味をもっている。

「日本留学試験」は、従来の留学生入学選考の問題点を改善し、より多くの優秀な留学生を引き付けるという目的で開発されたものである。平成9年3月に新しい試験の開発が提起され、調査研究を経て平成13年に試行試験が行われ、平成14年度から日本国際教育協会によって実施されている。日本語に関しては、従来は日本語能力試験1級及び2級の受験が求められるのが一般的であったが、「1級及び2級には、一般的な日本語能力の測定と、大学で教育指導を受けるに当たって必要とされる日本語（アカデミック・ジャパニーズ）能力の測定が混在しており、現行試験はアカデミック・ジャパニーズの能力を十分に測定し得るものとなっていない」（「日本留学のための新たな試験」調査研究協力者会議中間報告、平成11年9月10日による）という問題認識に基づき、新しい試験が開発された。

日本留学試験の日本語試験の目的は「日本の大学等での勉学に対応できる日本語力（アカデミック・ジャパニーズ）を測定する」（「日本留学試験実施要項」による）と規定されている。領域は聴解（120点）・聴読解（120点）・読解（160点）及び記述（6段階）の4つ、評価は400点＋6段階、試験時間は120分である。4つの領域のうち、「聴解」は日本語能力試験にも存在していたものであるが、従来の、「文字・語彙」「文法・読解」の領域に代わって「聴読解」「記述」という領域が設けられたのは、言語の個別要素に伴う規則などを細かく問うのではなく、論理的な思考力や文脈全体の把握力、未知のものや困難に対処するストラテジーなどを発揮して状況の中で機能する能力を問うという姿勢の現れである。なかでも、「聴読解」という複合領域は、教育現場で必要とされる能力を下位技能に分類せずになるべく現実に近い（authenticな）形で、総合的に発揮させることが意図されているものである。

本稿は、新しい試みの一つである「聴読解」の問題を大学教育を受けるために求められる日本語能力という観点から分析してその妥当性を検討するものである。

2. 聴読解問題の分析の観点

日本留学試験の日本語科目には、「聴読解」の他に従来と同じく「聴解」という領域も含まれている。形式上の違いは、聴解で使われる資料は図や絵であるのに対して聴読解では文字を含む資料が用いられること、聴解では設問が読み上げられるのに対して聴読解では設問が文字で与えられることの2点だけである。しかし、聴読解では、「読みながら聞く」という二つのテキストを同時に処理する作業の中で、論理的な推理力や判断力が発揮されることが期待されている。従って、音声のある意味に結び付けることだけに留まらず、目的を意識して、情報を取捨選択したり、二つの媒体から得られる情報を統合して判断したり、一つの媒体から得られる情報をもう一つの媒体の処理のために利用したりするなど、教育を受ける現場で必要とされる作業に接近した作業を求めることが必要である。また、内容やテキスト・タイプも、大学で教育指導を受ける適性を図るといった目的に合致するよう配慮されなければならない。

上の認識に基づき、まず、次節で素材の分野、音声素材の形式と文体、読解素材の形式、設問のタイプについて下のように分類を行い、それから、教育を受ける現場で行われる作業への近似性という観点から作業課題を検討する。

- 素材の分野：生活、学園、教育活動に分類
- 音声素材：形式は、対話、会話、独話に分類。文体は、丁寧体、普通体、混合に分類。
- 視覚素材
- 設問の形式

素材分野の、「生活」は一般的な内容のもの、「学園」は大学生生活に関連した語彙や話題を含む一般的な内容のもの、「教育活動」は講義・ゼミ・実験・実習など教育活動を内容とするものである。音声素材については、2名の参加者によるやりとりと独話が殆どであ

るが、3名のやりとりが一部含まれていたため、2名のものを「対話」、3名のものを「会話」とした。文体の「混合」は、会話・対話の場合に参加者が異なるレベルの文体を用いているものである。

本稿の分析対象は、平成13年度の試行試験、平成14年度日本留学試験（第2回、2002年11月実施）、平成15年度日本留学試験（第1回、2003年6月実施）の聴読解問題で、各20題合計60題である。資料はいずれも財団法人に本国際教育協会（AIEJ）の発行した試験問題集である。

3. 素材と設問

3-1 素材の分野

素材の分野別に3回の試験を見てみた結果は下のようであった。

表1 素材の分野

	生 活	学 園	教育活動
試行試験	10	5	5
平成14年度	10	5	5
平成15年度	4	5	11

平成15年度試験では、生活関連のものが減少し教育活動に関するものが大幅に増えた。この傾向は評価できるが、生活・学園と、教育活動とが半分ずつという割合は、日本留学試験が標榜している目的に合致するためには、ようやく最低線に達したといえる。

ろう。聴解という領域が別にある以上、生活関連のものではなくして、学園と教育活動だけでよいと考える。

3-2 音声素材

音声素材の形式と文体は次のようであった。

表2 音声素材の形式と文体

	対話	独話	会話	丁寧	普通	混合
試行試験	15	5	0	11	7	2
平成14年	14	5	1	10	9	1
平成15年	14	6	0	12	8	0

形式は対話形式が圧倒的に多い。講義をはじめとする教育現場の活動に対処する能力を見るためには、相手からの直接的介入を受けずに持続する「独話」の形式の素材がもっと必要である。文体のレベルについては、レベルが非対称の対話・会話が試行試験には2題あったが、14年度は1題、15年度にはなくなっている。非対称の会話が生ずる可能性が高い関係は、上級生と下級生、事務官と学生、教官と学生など数多い。「先生」はまだしも、上級生や事務官などへの対応が非対称になることは留学生の多くの文化的前提や言語習慣とは食い違うため、知識として知っておく方が学園生活を円滑に送る上で有利である。大学など高等教育の機関における生活への適応力を見るためには、レベルが非対称である音声素材を用いることを含め、文体の示唆する意味の理解を問う問題が取り入れられるべきであろう。

形式面以上に重要なのは内容であるが、一題一問という形式の制約があるため、内容は全体的に単純で日常的なものが殆どであ

る。常識的な知識や推論を働かせて判断しつつ聞く必要のあるような展開を含むようなものは非常に少なく、話している人の置かれている蓋然的な状況が素材となっているものが多く、従来の聴解との違いを感じにくい。

3-3 視覚素材の種類

視覚素材として使われているものタイプはそれほど多くない。主なものは、お知らせや掲示物、講義の資料、地図・配置図である。このうち、地図・配置図は、15年度試験では姿を消している。

表3 視覚素材

	お知らせ掲示物	講義資料	地図・配置 図	その他
試行試験	4	4	4	8
平成14年	8	5	2	5
平成15年	8	6	0	6

最も多いのは「お知らせ・掲示」であるが、複数の選択肢の条件を簡略な表の形式にまとめたものなど、かなり無理をして「生の素材」の体裁を与えたというものが多く、生の素材を用いることに意識的な努力がなされているように感じられる。伝言メモ、書名の一覧はがきの宛名、電子辞書の操作盤などという選択にも同様の意識が感じられる。一方、書かれたものとして目にすることが考えにくいものもある。例えば、行動を決定するにあたっての制約（何かを買う場合の資金の額など）、話の主題や要旨の記述などである。

生の素材かどうかということは問題の作業課題の妥当性とは直接

結びつくものではない。次節で示すように、生の素材を使用しながら不自然な作業を課している例が少なくないのである。生の素材を用いることは受験者たちに対して表面的妥当性を確保しやすいという点で一つの意義はあるが、素材のauthenticityと作業課題のそれを混同しないことが大切である。

3-4 設問の形式

設問の形式は、一題一問、4肢選択という制約のもとで、当然のことながらそれほど多様ではありえない。典型的なものをあげると、

- a. どれについて話していたのでしょうか。
- b. どれを選んだのでしょうか。
- c. どれを書いたのでしょうか。
- d. どれをするのでしょうか。
- e. 主旨はどれでしょうか。

上のa-eの中で、aは、話の内容から明らかになるその話の行われた状況についての問い、即ち話の前提を問うものである。2度の経験を経て行われた平成15年度の20題で最も多いのはaで、これが8題含まれている。b-eでは話の内容から何らかの判断をする必要があるが、話の登場人物が何かを持っているかいないかといった偶発的条件に基づいて判断をするものが多い。つまり、常識や合理的な推論に基づく判断より、聞き取りの正確さが問われるもので、総合的な判断力が発揮される余地は少ない。

1. 作業課題の検討

本節では、教育を受ける現場で発揮されるべき技能との関連という点から、作業課題の妥当性を検討する。3回分60題の中から、まずauthenticな作業の例を、次に問題を含むと考えられる作業の例を提

示する。

4-1 現実的な作業課題

a. 要点を把握する作業課題。

下の例は平成15年度に出題されたものである (19番)。

例題1 平成15年19番

<p>(視覚素材)</p> <p>先生が人間の欲求について話しています。この先生が最も言いたいことは何ですか。</p>	<p>(音声素材)</p> <p>左と同じ提示文。</p>
<div style="text-align: center;"> </div> <ol style="list-style-type: none"> 1) 人間の欲求は図のように5つに分類できる。 2) 図の下の欲求が満たされるとその上の欲求が起こる。 3) 図の一番上の欲求と2番目以下の欲求とは大きく異なる。 4) これらの欲求はすべて、今ないものを満たそうとするものである。 	<p>人間にはいろいろな欲求があります。その欲求は図のように5つの階層をなしているという考え方があります。例えば、おなかが減ったら何か食べたいという生理的欲求が起こりますが、十分な食糧が確保でき、その欲求が満たされると、安全への欲求が芽生えます。さらに安全への欲求が満たされると、人に愛されたいとか、人の集まりに所属したいといった社会的欲求が起こります。このようにこれらの欲求は、下の欲求が満たされると上の欲求が起こるといった関係にあります。</p> <p>確かにこのようなことは言えるとおもうのですが、これだけでは重要な点が見落とされています。それは、自己実現とその他の間には大きな違いがあるということです。下の4つの欲求はその時点で欠けているものを満たそうという欲求で、例えば空腹は食事をすれば満たすことができますし、しかもそれは10分で満たすことができます。しかし、自己実現は何かが欠けているものが与えられれば満たされるといようなものではありません。これは一生涯にわたる問題で、その人の生きている価値がかかっているのです。</p>

「日本留学試験・聴読解問題」分析

この問題の視覚素材では、図の部分は実際の講義の場でもレジュメなどの形で提示されそうな現実性の高いものであるが、選択肢として与えられている記述は実際の講義の場では提示されるとは考えにくい。しかし、講義を聴いて数々の論述の中から重要度の高いもの判断するという作業は、実際の場で行われるもので、現実的あるばかりでなく重要度も高い。試行試験の12番（資料2 A参照）も、数値を示す資料を見ながら説明を聞いて資料から読み取れる事実を選ぶという課題で、非常に現実的である。試行試験の13番（資料2 A参照）は、講義ではなく学生が教官に相談している会話の形式であるが、学生が述べた関心の内容に最も近いと思われる本の題名を選択するという形で聞いた内容の要点を判断させるもので、現実的な作業である。

b. 二つの情報源から与えられる情報の比較対照を求める作業課題
下の例は平成14年度に出題されたものである（20番）。

例題2：平成14年度20番

(視覚素材)	(聴解素材)
<p>「世界遺産」についての説明を聞きながら、学生がノートを取っています。しかし学生は一箇所メモを取り間違えてしまいました。この学生が間違えてメモした部分はどれですか。</p>	<p>「世界遺産」についての説明を聞きながら、学生がノートを取っています。しかし学生は一箇所メモを取り間違えてしまいました。この学生が間違えてメモした部分はどれですか。間違ったところですか。</p>
<p>世界遺産：「世界遺産条約」に基づき、人類共通の財産として認定。</p> <p>(1)世界遺産の分類 文化遺産 自然遺産 複合遺産（文化+自然）</p> <p>(2)日本の世界遺産 一11件(2000年現在)</p> <p>文化一9 自然一2 複合一0</p>	<p>世界遺産とは、世界遺産条約に基づき、人類共通の財産として認定された物件のことを言います。世界遺産は、大きく文化遺産と自然遺産に分けられますが、この他両者の要素を兼ね備えたものもあり、これは複合遺産と呼ばれています。</p> <p>2000年12月現在、日本では11件が世界遺産リストに登録されています。その内訳は、文化遺産が9件、自然遺産が2件です。複合遺産はまだ登録されていません。</p>

<p>(4)世界遺産の認定 「世界遺産委員会」が認定 委員国:条約締結国から選ばれる</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. (1)の部分 2. (2)の部分 3. (3)の部分 4. (4)の部分 	<p>世界遺産の認定には、厳正な手続きが必要です。世界遺産としての推薦は、世界遺産条約を締結した国が行うことになっており、個人や地方自治体からの推薦ということはありません。</p> <p>世界遺産として推薦された物件のうち、実際にどれを世界遺産として認定するかは、「世界遺産委員会」が決定します。委員となる国は、世界遺産条約を締結した国々から選ばれています。</p>
---	---

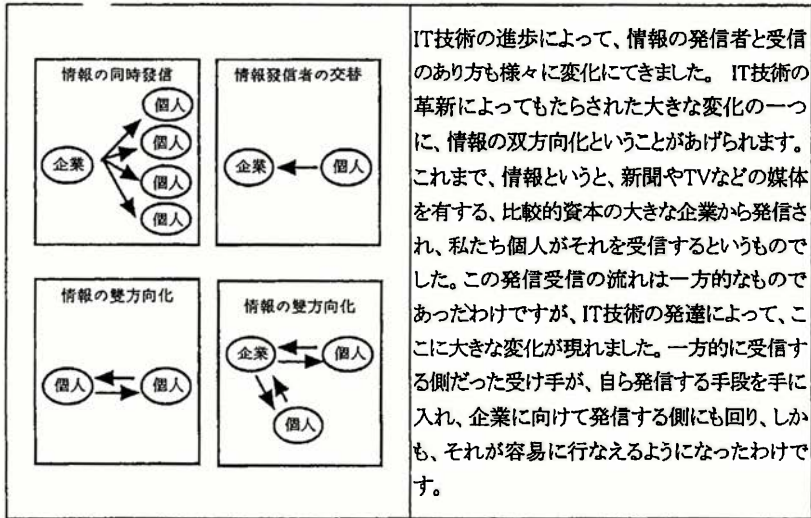
人のノートの誤りを見つけるということは現実にはあまり行わないかもしれないが、実際には、この視覚素材は「レジメ」の機能を持っている。即ち、この問題は、キーワードと談話の流れを示すもの（レジメ）を見ながら講義の内容を正しく聞き取ることを課しているのである。聞き取り能力と読解能力とを相補的に統合して使うという点で聴解とは区別され、総合的で現実的な作業課題であると見ることができる。

c. 聞き取った内容を視覚化する作業課題

次の問題は平成14年度に出題された（19番）。

例題3：平成14年19番

<p>(視覚素材) 先生がIT技術について話しています。この先生がIT技術の発達の結果として話していることを図にするとどのようになりますか。</p>	<p>(聴解素材) 左と同じ指示文。</p>
--	----------------------------



話された内容をイメージ化して捉えることも、教育を受ける現場では重要性の高い技能である。現実の場では4つのイメージから選ぶのではなく一つの正しいイメージを構築するのではあるが、4肢選択という条件の下では、この程度の妥協は許容せざるを得まい。類例として、平成15年度15番がある（資料2A参照）。これは、教官がゼミで学生を指導している会話という形式で、現在使っているグラフの形式を変えてよりよく内容を示すためにはどのグラフがよいかを選択させるものである。音声を聞き取る能力だけでなく、視覚的に与えられる情報についての常識的理解が選択を助けるという点で、総合的判断力を問う現実的な作業課題であると言える。試行試験の14番（資料2A参照）も、会話で指示された状況をイメージ化できたかどうかを問うという現実的作業を課している。ただし、文字情報が少なく「読解」の要素を含むとは言いにくいのが難点である。

4-2 非現実的な作業課題

a. 共有されているべき前提を問う課題

例題4は平成15年に出题されたものである(2番)。

この問題のように、「どの項目についての話だったでしょう」など、話題になっていた項目、部分、人などを問う問題は非常に多い。しかしながら、講義や説明の現場で、何についての説明であるかのような基本的な了解事項を明確に指し示さないほど配慮に欠ける教官や職員がいるだろうか。いたとしても、或いはよりありそうな事態として現物指示がなされたときに学生が偶々聞き逃したとしても、そのような場合取るべき対応は、話をじっと聞いて類推しようとするものだろうか。

例題4：平成15年度2番

<p>(視覚素材) 新生生に対するガイダンスの会場で、大学の職員が説明しています。この職員は、配布資料の中のどの項目について説明していますか。</p>	<p>(読解資料) 左と同じ指示文</p>
<p><配布資料> *キャンパス案内 大学内施設(専務局・講義棟・研修棟・図書館・体育館等)の位置 *各事務室案内 (1)学生課 学生証発行、住所変更届出、通学・在学証明、退学・休学・復学届 (2)教務課 授業登録、授業登録取消、成績表・成績証明書発行 (3)会計課 授業旅納付、授業料減免手続き、奨学金申請・受領手続き (4)情報課 学生用e-mailアドレス発行、コンピュータ研修会申し込み受付</p>	<p>えー、先日皆さんに、学籍簿に書いてあることが変更になった場合は、この窓口に届け出ていただくこととなります。例えば、引越しをしたときなどですね。 そういう場合、学生証の記載事項も書き換えなければなりませんから、届出のときには忘れず学生証も持ってきてください。</p>

わからないことが生じたときに自分で何とかしようとしてますます問題を大きくしてしまうより、さっと手をあげて「すみません、聞き落としたのですが、今の説明は(1)のところですね?」と確認することが出来るほうがずっと望ましいことは、留学生と接したことのある人なら誰でも知っているだろう。現場では行ってほしくないことを試験の中で行わせるのは支持し難い。

平成15年の11番(資料2 B参照)の課題も、現実的な情報処理の能力が発揮されるとは考えにくい例の一つである。この問題は、受験要項などで必ず目にする試験日の一覧表を見ながら職員と学生が話している会話を聞かせて、「この人が試験を受ける日は何日か」を問うのであるが、結局、「この人は誰か」と問うているのと同じことである。このような表を見たときは、自分のアイデンティティを出発点として、関係のある情報を取捨選択するのが通常の処理であろう。

会話の中で推論を行うことはもちろん必要であるが、通常は会話を始める大前提、推論を行う出発点となっている情報を伏せてそれを推理するような作業は現実的とはいえない。生に近い資料を用いたのならそれを見たときに行うべき情報処理を行わせるような課題を与えなければ、留学生試験が評価しようとしている総合力や判断力を発揮させるどころか抑制することにもなりかねない。このような課題は、前述したように、2度の経験を経て出題された15年度試験でも8題もあり(2番、5番、6番、11番、14番、16番、18番、20番)、大きな問題である。

b. 重要度の低い情報に着目させる作業課題

例題5は平成15年に出題されたものである(1番)。

この問題のように、細部の異なる4つの資料を見比べて該当するものを選ぶ問題も多い。こうした問題の特徴は、4つのうちから取捨選択を行ううちに普通なら最も必要とされる部分の情報が共通し

ていて、細部の情報が異なっていることである。従って、効率よく正解を見つけるためには、通常は最も重要である情報（ここでは、自分へのメモであるか、誰からのメモであるか）を無視できることになるべく早く気づかなければならない。試行試験の18番（資料2 B）も同様に、複数のレポート課題の要領が提示されているが、通常最も大切な情報である「科目名」が同じである。

現実の場面では、メモや掲示などが複数存在するならば、基本的な情報にまず着目して関連性の有無を判断し、捨てるべき情報は捨て（つまり、自分へのメモや自分の

例題5：平成15年11番

(視覚素材)		(聴解素材)
女性と男性が電話で話しています。この女性が頼んだ伝書をメモにするのようになりますか。		左と同じ指示文
(1) 伝言メモ 田中さんへ ぺいさんより 電話がありました。 7時までにもた電話するとのことです。	(2) 伝言メモ 田中さんへ ぺいさんより 電話がありました。 7時すぎに電話してほしいとのことです。	女性：もしもし、あの…そちらは国際寮でしょうか。 男性：はい、そうです。 女性：私はペイと申しますが、田中さんお願いします。 男性：田中さんは今出かけています。帰りは夕方になるそうですけど。 女性：そうですか。じゃあ、すみませんが伝言をお願いしますか。 男性：ええ、いいですよ。ええと、ペイさん、でしたね。どうぞ。
(3) 伝言メモ 田中さんへ ぺいさんより 電話がありました。 7時前に電話してほしいとのことです。	(4) 伝言メモ 田中さんへ ぺいさんより 電話がありました。 7時以降にまた電話するとのことです。	女性：はい。あの…明日の研究会のことで、田中さんに大事な相談があるんです。それで私のほうから後ほどもう一度連絡しますって伝えてほしいです。 男性：はい。 女性：私も今から出かけるんですけど、7時ごろには帰れると思いますので、連絡はその後になると思います。 男性：はい、わかりました。そのようにお伝えします。 女性：よろしくお願いします。

受講科目以外は無視して)、最も関連性の大きい情報(つまり、自分へのメモ、自分の受講科目)にたどり着くことが大切なのであって、「似ているものの間の細かい違いをなるべく早くみつける」という、雑誌などによくある「間違い探しゲーム」などのような処理が求められるわけではない。細部の情報を比較検討させることを求めるならば、そこに着目することが状況から求められる論理的な必然であるような状況を設定して、受験者が有す常識的判断力が活用できるようにすべきである。

c. 教育を受ける適性ととの関連が少ない課題

下の問題は平成15年に出题されたものである(7番)。

例題6:平成15年7番

(視覚素材)	(聴解素材)
<p>男子学生と女子学生が新刊図書案内を見ながら話しています。この男子学生はどの本を買うことにしましたか。</p> <p>新刊図書案内</p> <p>(1)21世紀の日本へ 上田勇著 横浜党出版 今世界で活躍する日本の著名人10人が21世紀の担い手となる若者に送る熱いメッセージ!</p> <p>(2)続・元気生活 谷中理恵著 かまくら書房 ベストセラー「元気生活」に続く、第二弾。 元気生活を実践する著者が毎日のこころと体の健康について誇る人気エッセイ。</p> <p>(3)はじめての一人暮らし 青木ユカリ著 生活社 料理、洗濯、掃除など家事の基礎から一人暮らしの楽しみ方までを詳しく解説。これさえあれば、一人暮らしなんて恐くない!</p>	<p>左と同じ指示文。</p> <p>男子学生 : 今度の本を読もうと思うんだけど、どれがいいかなあ。</p> <p>女子学生 : 新刊案内ね。どれどれ。</p> <p>男子学生 : どれも面白そうなんだよね。</p> <p>女子学生 : あ、私、「元気生活」呼んだわ。わかりやすい文章で書かれていてよみやすかったわよ。へえ、あの続編が出たんだ。私、買おうかな。</p> <p>男子学生 : ほんと? じゃ、読み終わったら貸してくれる?</p> <p>女子学生 : いいわよ。最初の「元気生活」もあるからそれも貸してあげる。</p> <p>男子学生 : だったら、僕はこっちにしようかな。これって有名な話が一冊にまとまっているってことだよな。</p>

<p>(4)読み直したいあの話し 佐山和男著 エルド ラド出版 小学生、中学生の教科書に載っていた名作 の数々。子供のころを思い出しながら読んでみ てはいかが？</p>	<p>女子学生： あら、そんな本だったら私も読ん でみたいわ。昔読んだことのある話って、 ときどきすごく懐かしくなるものね。それに してよ。「元気生活」と交換して読みま しょうよ。 男子学生： そうだね。そうしよう。読み終っ たらまわすわよ。</p>
--	---

上の例のように、本、旅行先、映画、クラブ活動・・・など、諸々のものを選ぶにあたっての友人同士のおしゃべりという素材は非常に多い。以前から行われてきた聴解という領域の中でも見慣れたものである。しかし、現物指示の対象となったものを尋ねる不自然さをさておくとしても、そもそも本を持っているとかいないとか、あるものが好きだとか嫌いだとか、ある曜日にアルバイトをする暇があるとかないとか、そうした偶発的な条件によってその人がどうするかということ聞き取ることが、教育現場での技能とどう関連するのか、甚だ疑問である。論理的推理力や常識的知識に基づく判断力の有無が正解の選択に影響するとは考えにくい。アカデミック・ジャパニーズを用語や素材のレベルで捉えるのは大きな誤謬である。

この他にも、費用の合計を足して5で割った結果が求められる問題（平成14年11番）など、アカデミック・ジャパニーズの技能を測るという目的とも、下位技能としての「音声聞き取り」とも関連が感じられないものがある。

4-3 作業課題の現実性

以上見てきたように、使用されている視覚資料や聴解資料が生に近いものであるだけでは、作業課題の現実性は保証されない。作業課題の現実性という点から3年度の問題を評価してみると、下のようになる。

表4 作業課題の現実性

	非現実的	現実的
試行試験	7	13
平成14年試験	10	10
平成15年試験	12	8

素材分野は教育現場を反映するものが増えてきたのであるが、問題の妥当性に最も決定的な影響を及ぼす作業課題は、逆に非現実的なものが増えているのである。

上の事態は、問題作成担当者の努力の不足だけに帰すことはできず、本質的な問題を示唆しているように思われる。自分で問題を作成しようとしてみればすぐわかることであるが、一題一問という制約の中では、聴解素材の長さも極度に制限され、論理的思考力を発揮させるような素材を提示して合理的判断力の有無を問うような設問をすることは非常に難しい。日本留学生試験の所期の目的を達するためには、形式についての現行の制約を変えて、ある程度の分量を持つ素材を使用できるようにすることが必要である。

5. 聴読解問題の今後とアカデミック・ジャパニーズ

「聴読解」という領域が目指している総合的な技能を問うという方向自体は妥当なものであるが、現在までに出題されている問題がその方針を実現しているとはいえない。

聞くことと読むことを両立させることが必要とされる典型的な活

動といえば、板書や資料を見ながら講義を聞くことである。即ち、聞いて具体的な対象物を想起するだけではなく、聞いたことによつて今まで知らなかったことを理解するという活動である。その中では、未知の用語や概念に出会っても慌てずに既知情報から見当をつける、板書などで与えられる文字情報や図表などの視覚情報を聞く内容に結びつけて理解の助けとする、論理的な判断力を発揮して議論の展開を予測する、表面的な意味だけでなく意義や価値を把握する、把握したことを応用する、などのことが求められる。このような技能こそがアカデミック・ジャパニーズの内容であるはずで、聴読解の領域では、このようなことが十分に行うことができるかどうかを試す必要がある。

上で述べた目的のためには、論理の展開を含むようなある程度の長さを持つ素材を用い、理解を複数の角度から問うことが必要である。即ち、「レジュメ付き聴解」、一題複数設問という形式が望ましいと考える。

日本留学試験が導入されてまだ日が浅く、この試験の是非を議論するに十分な証拠はまだ蓄積されていないが、もし、日本語習熟度の敷居を下げただけで学習適性の判定につながっていないとしたら、入学後にこれまで以上の困難を抱える留学生を増やす結果を招く恐れもある。日本留学試験の理念を体現するために、聴読解という複合領域が存在する意義は大きいが、それを真に生かすためには、現実的な活動を課す出題を行うことが必須である。

〈参考資料〉

- 「日本留学のための新しい試験」調査研究協力者会議中間報告、平成11年9月10日
平成13年度日本留学試験（試行試験）試験問題
平成14年度日本留学試験（第2回）試験問題
平成15年度日本留学試験（第1回）試験問題
（以上3点）財団法人 日本国際教育協会

〈参考文献〉

- 門倉正美「日本留学試験の狙いと問題点」－「日本留学試験」の「最終報告書」を読む（2001）『横浜国立大学留学センター紀要』第8号 pp. 93、112
_____「日本留学試験の問題点(2)」－「公開用試験問題の分析」（2003）『日本留学試験とアカデミック・ジャパニーズ』科学研究費補助金基盤研究（A）課題番号14208822 研究成果中間報告書 pp. 207、216
嶋田和子「課題達成能力の育成をめざした日本語教育振興協会における研究活動－日本留学試験に対応した新たな取り組み－」前掲書、pp. 17、30
因京子「学部留学生の学習活動の現状と意識」－九州大学の場合－（2003）前掲書、pp. 63、72

資料1：聴読解問題分析

A：試行試験

	分野	音声形式	視覚素材	設問	作業
1	学園	対話・普通	ポスター	どのコースを選んだか	非
2	生活	対話・普通	説明図	どの車両を選ぶか	非
3	教育	独話・丁寧	資料	訂正箇所はどれか	現実
4	生活	対話・丁寧	フロア見取図	指示された場所はどれか	現実
5	生活	対話・丁寧	公席状況	どのバスを選んだか	現実
6	学園	対話・普通	教科書の値段	どの本を選ぶか	非
7	生活	対話・普通	お知らせ4種	どの地区に住んでいるか	非
8	生活	対話・丁寧	行事予定表	どれを選ぶか	非
9	生活	対話・丁寧	時刻表	どの列車で行くか	非
10	生活	独話・丁寧	予定表	訂正内容はどれか	現実
11	生活	独話・丁寧	グラフ	どれが合致するか	現実
12	教育	独話・丁寧	資料	資料が何を意味するか	現実
13	教育	対話・丁寧	本の題名	話の主題は何か	現実
14	学園	対話・普通	机の配置図	どの配置にするか	現実
15	生活	対話・混合	催し会場	どの配置にするか	現実
16	教育	対話・混合	文献の表示	どれが正しいか	現実
17	生活	対話・普通	地図	どこにあるか	現実
18	学園	対話・普通	お知らせ4種	どれが正しいものか	非
19	学園	対話・丁寧	お知らせ	どうするか	現実
20	教育	独話・丁寧	地図	探している場合はどこか	現実

「日本留学試験・聴読解問題」分析

B：平成14年問題

1	生活	対話・普通	メモ	どれを選んだか	非
2	生活	対話・普通	時刻表	どれを選んだか	非
3	生活	対話・普通	一覧表	どれを選んだか	非
4	学園	対話・普通	電子辞書表示	どの順番かどうするか	非
5	生活	対話・混合	配置図	どうするか	非
6	生活	対話・普通	お知らせ4種	どれを選んだか	非
7	学園	独話・丁寧	メモ	どれを選んだか	現実
8	生活	対話・丁寧	ポスター	どうするか	現実
9	生活	対話・丁寧	先生用のメモ	先生の取ったメモは	非
10	生活	対話・普通	お知らせ4種	どれを選んだか	非
11	生活	対話・普通	お知らせ	一人の負担はいくら	現実
12	学園	対話・丁寧	はがき	4種のどれが正しいか	現実
13	生活	対話・普通	一覧表	どれを選ぶか	非
14	学園	対話・普通	お知らせ	どれを選ぶか	非
15	学園	対話・普通	一覧表	どれを選ぶか	現実
16	教育	独話・丁寧	資料	主旨はどれか	現実
17	教育	会話・丁寧	資料	どこを変えるか	現実
18	教育	独話・丁寧	資料	話の主題は	現実?
19	教育	独話・丁寧	概念図	どれが正しいか	現実
20	教育	独話・丁寧	講義録	どこを訂正すべきか	現実

C : 平成15年度問題

1	生活	対話・丁寧	メモ	正しいメモはどれか	非
2	学園	独話・丁寧	資料	どこが関係しているか	非
3	学園	対話・普通	ポスター	4種のどれを選んだか	現実
4	学園	独話・丁寧	メモ	洩れている項目は何か	現実
5	学園	対話・丁寧	お知らせ	4種のどれを選んだか	非
6	生活	対話・普通	ポスター	4種のどれを見ているか	非
7	生活	対話・普通	ポスター	どれの事を話しているか	非
8	学園	対話・丁寧	論文題目	どれが正しいか	現実
9	学園	対話・普通	お知らせ	4種のどれが正しいか	非
10	学園	対話・普通	時間割	どれの事を話しているか	非
11	学園	対話・丁寧	お知らせ	どれに該当するか	非
12	生活	対話・丁寧	価格表他	どれを選んだか	非
13	学園	対話・普通	掲示	どれを選んだか	非
14	学園	対話・普通	お知らせ	どこが話題となっているか	非
15	教育	対話・丁寧	グラフ	グラフをどう変更するか	現実
16	学園	独話・丁寧	program	話の主題は何か	現実
17	教育	独話・丁寧	回答用紙	間違いはいくつか	現実
18	教育	対話・普通	メモ	どれを話題にしているか	現実?
19	教育	独話・丁寧	概念図	要点は何か	現実
20	教育	独話・丁寧	資料	どこを話題にしているか	非

資料 2 A

12番(試行)

学生が、先生の講義を開きながら表を見えています。

この表から何がわかりますか。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
COD値 (ppm)	52	40	28	20	16	10

1. 池の水がだんだん汚れてきている。
2. 池の水がだんだんきれいになってきている。
3. 池のまわりの植物がだんだん減ってきている。
4. 池の水がだんだん減ってきている。

13番(試行)

女子学生が先生に、レポートの参考文献について相談しています。この女子学生が、先生に借りた本はどれですか。

1

なぜおこる大気汚染
—そのさまざまな原因—

2

廃棄物の処理と大気汚染
—ごみは大気も汚す—

3

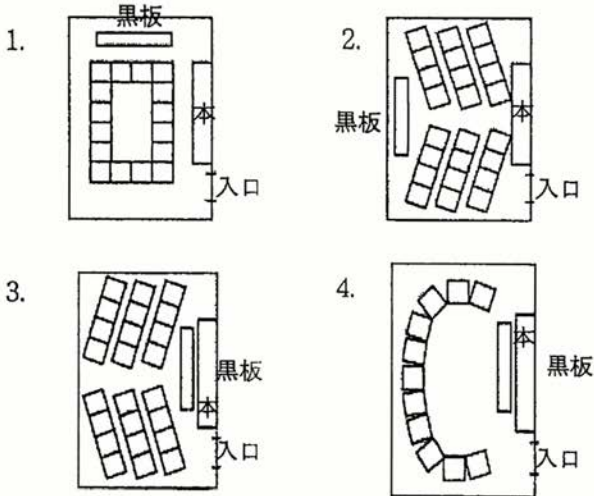
気管支に関する疾病
—その治療法—

4

自動車の排気ガスと大気汚染
—健康への影響—

14番(試行)

男子学生と女子学生がゼミの机の並べ方について話しています。
机はどのように並べかえますか。



(テープ)

14番

男子学生と女子学生がゼミの机の並べ方について話しています。机はどのように並べかえますか。

女子学生：ねえ、この部屋の机、並べ方変えてみない？

男子学生：そうだね。これだと先生の顔はよく見えるけど、ほかの学生の顔が見えないよね。

女子学生：そうそう。後ろに座ると、頭しか見えないから、誰が質問しているのかも分からない。

男子学生：じゃあ、いっその事、丸くしてみる？

女子学生：丸く囲むか、四角く囲むか。どっちがいいかな。

男子学生：だけど、今みたいに黒板をこっちの壁じゃなくて、本？があるほうに？つてきて、真ん中をあけて、両？にカタカナのハの字のように並べたらどうか？

女子学生：そうしたら、本？が見えなくなるわよ。

男子学生：だけど、窓の所に置くよりまだよ。まぶしくて黒板が見えにくくなると困るから。

女子学生：そうねえ。じゃあ。一度そうしてみる？

男子学生：入口が前になるから、遅刻したらすぐ目立っちゃうね。

15番(平成15年)

ゼミで女子学生が発表した後、先生が資料の作り方について問題点を指摘しました。この女子学生は、資料をどのように作り直せばいいですか。

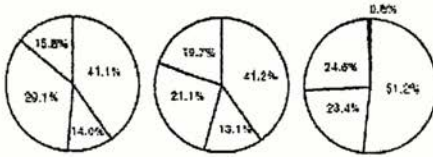
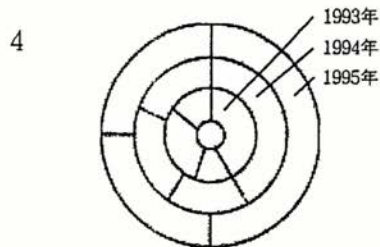
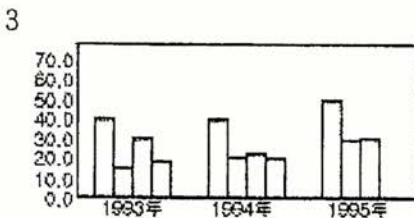
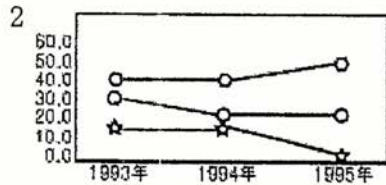
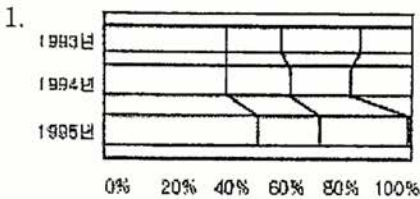


図2-1 企業の環境保全活動はいかに行うべきか

- ①景気に左右されずに行うべきだ
- ②不況時にこそ積極的に行うべきだ
- ③不況のため削減されても仕方がない
- ④分からない



15番

ゼミで女子学生が発表した後、先生が資料の作り方について問題点を指摘しました。この女子学生は、資料をどのように作り直せばいいですか。

女子学生：では、これで私の発表を終わりにさせていただきます。先生、よろしいでしょうか。

先生：ええ、じゃ、最後に一つだけ私のほうから。

女子学生：はい。

先生：図2-1のグラフなんですけどね。これ、円グラフが三つ並んでいますよね。あなたの発表では93年の間の変化に注目していたわけだから、それがわかるような形のグラフになった方がいいですね。

女子学生：割合が一目でわかると思って円グラフにしたんですけど……。

先生：割合の変化を見るんだから、円グラフだと変化がつかみにくいですよ。

女子学生：はあ、そうですね……。

先生：それぞれの年を0%から100%までの一本の帯にしても割合は表せますよね。帯を項目の割合に応じて分割すればいいんですから。そして、その三年分を上下に並べて項目ごとに線で結べば、変化も見られるでしょう。

女子学生：あ、はい。

先生：グラフは目的に合ったものを選ぶようにしてください。

資料 2B

留学生が大学の事務局について聞いています。この留学生はいつ試験を受けますか。

	学 部		大学院
	一般選抜	特別選抜 (海外の高校を卒業した者)	
順番配布	11月1日	11月1日	11月1日
願書受付	1月6日～1月10日	1月10日～15日	1月10日～15日
試験日	法・経済学部 1月17日 社会学部 1月18日 情報学部 1月19日	法・経済学部 1月20日 社会学部 1月21日 情報学部 1月21日	全研究科 1月22日
合格発表	2月1日	2月5日	2月5日
入学手続き	3月1日～3月5日	3月1日～3月5日	3月1日～3月5日

1. 1月17日
2. 1月20日
3. 1月21日
4. 1月22日

11番

留学生が大学の事務局で入学試験について聞いています。この留学生はいつ試験を受けますか。

留学生：すみません。入学試験の日程についてお尋ねしたいんですが。

職員：はい。では、こちらの表をご覧ください。学部はどちらですか。

留学生：法学部です。

職員：そうしますと、こちらですね。1月17日。

留学生：あの、この「一般」って言うのは、日本の高校を出た人向けですよね。

私、学生なんですけど……。

職員：あ、そうですか。失礼しました。でしたら、こちらの欄をご覧ください。念のため伺いますが、学部の入試ですよ。

留学生：いえ、今、法学部の学生なので、今回は大学院を受験します。

職員：そうですか。それでしたらこちらですね。たびたびすみません。

18番(試行試験)

男子学生と女子学生がレポートについて話しています。この二人はどのレポート課題について話していますか。

経営学概論	
1	提出用紙、枚数 ワープロの場合 A4判用紙 4,000字以内 A4判4,000字読め原稿用紙 10枚以内
	提出期間 7月25日午後3時 (時間厳守)
	場所 田中研究室

経営学概論	
2	提出用紙、枚数 ワープロの場合 A4判用紙 4,000字以内 A4判4,000字読め原稿用紙 10枚以内
	提出期間 7月25日午後3時 (時間厳守)
	場所 経営学部事務室

経営学概論	
3	提出用紙、枚数 ワープロの場合 A4判用紙 4,000字以内 A4判4,000字読め原稿用紙 10枚以内
	提出期間 7月25日午後5時 (時間厳守)
	場所 経営学部事務室

経営学概論	
4	提出用紙、枚数 ワープロの場合 A4判用紙 10枚以内 手書き不可
	提出期間 7月25日午後5時 (時間厳守)
	場所 経営学部事務室

18番

男子学生と女子学生がレポートについて話しています。この二人はどのレポート課題について話していますか。

男子学生：ごめん、先週の講義に出てなかったんで、田中先生の経営学概論のレポートについて聞いてないんだ。教えてくれる？

女子学生：うん、いいわよ。

男子学生：課題は「国際的視野から見た日本の経営」についてだったよね？

「日本留学試験・聴読解問題」分析

女子学生：そうそう。

男子学生：何枚ぐらい書かなきゃいけないんだ？

女子学生：えっと、ワープロで4000字以内。

男子学生：手書きでもいいの？

女子学生：うん、原稿用紙だったら、10枚以内ね。

男子学生：締め切りは？

女子学生：7月25日の午後3時、時間厳守だって。

男子学生：時間に厳しいからなあ。で、先生の研究室に提出するの？

女子学生：ううん、事務室だって。

男子学生：ああ、そうか。ありがとう。助かったよ。